令和７年度　第２回　運営推進会議議事録

●日　時：令和７年７月 22 日(火)　17：30　～　18：00

●場　所：篠原事業所２階　会議室

●出席者：甲斐市職員、新居区民生児童委員、あすか在宅クリニック、健康科学大学、
利用者様家族、当法人職員、しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所職員（計 12 名）

<table>
<tr><td>議事事項</td><td>1）現状報告　（別紙１）
①利用者の状況について
②サービスの内訳について
③活動の様子
2.）その他
・自己評価・外部評価について
・10 月 19 日（日）の事業所のイベントについて</td></tr>
<tr><td>議事内容</td><td>1.)現状報告
①利用者の状況について
(1)利用者数
<table>
<tr><td>月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月（7/18 時点）</td></tr>
<tr><td>利用者数</td><td>17 人</td><td>19 人</td><td>23 人</td></tr>
</table>
・2 か月で 7 名の新規利用者様が開始となり、依頼元の内訳は、病院（退院直後から利用）2 名、居宅から移行 3 名、家族（看多機へ直接電話）2 名となっている。
直接ご家族からの相談ケースでは、認知症で徘徊し介護負担が増大していたため相談翌日より「通い」を利用している。また、がん末期のケースは、退院直後から「通い」と「訪問介護」、医療保険での「訪問看護」を組み合わせてサービスを開始した。
退院後 5 日で亡くなられたが、ご家族から「父が家に帰りたいと言っていたことを叶えてあげられて良かった」という言葉が聞かれた。
（意見）　新規利用者の中で家族から直接 2 名の相談があった事は、これまでのやり方・進め方が良かったからだと思う。
（質問）　居宅から 3 名の移行の理由は何か。
（返答）　居宅介護支援事業所より相談があり利用開始となった。訪問介護、通所介護が限度額もあり在宅のサービスでは賄いきれず、看多機の利用となったケース、通いの送迎の際に内服薬と食事を食べたか確認をする等、短い時間でのニーズに対して。看多機へ移行となった。
（質問）　人数が増えてきているが家族の希望に添えているか。
（返答）　現在、通いたい日に定員上限の 18 名に達する日があるという課題が出てきている。泊りも同様に上限の９名の日がある。利用者全体を見て柔軟に対応している。</td></tr>
</table>

(2)介護度（R７年６月分）

介護度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
人数	３人	６人	３人	８人	２人
	14%	27%	14%	36%	9%

平均介護度：R7 年４月：3.1　　R７年６月：3.0

・要介護 1～2 の方が 4 月 7 名→6 月 9 名と増えて平均介護度は下がり、要介護 3 以上の方は 59%と 6 月より減少がみられる。利用者の特徴として介護度の軽い認知症の利用者が増えている。

（質問）　介護度の軽い認知症の方は、通いだけなのか。

（返答）　通いが主となっている。家族の仕事の状況や、利用者様の徘徊予防のために利用している。

(3)医療依存度について

痰の吸引：２名　胃瘻：２名　在宅酸素：１名　膀胱留置カテーテル：２名

排便管理：５名

・常時、医療依存度の高い方が利用されており、きめ細やかなサービス提供を看護師が中心となり行っている。また、介助方法については、セラピストに相談し助言をもらった上で注意点などを介護職と情報共有しながら行っている。

・排便管理は、1 人暮らしの方はで排便がいつあったか分からず、週 1 回看多機で浣腸をする方向になった。

②サービスの内訳について

		4 月	6 月
通い		356 回/月	332 回/月
泊まり		189 回/月	126 回/月
訪問	介護	239 回/月	218 回/月
	看護	35 回/月	44 回/月

・利用者数の微増はあるが、「通い」と「訪問介護」に関して回数の減少がある。これは、週 4 回通いを利用していた方が自宅での療養となり、「訪問看護」を医療保険に変更した事が一因である。このように体調に合わせてサービスを変更し柔軟に対応できる体制が当事業所の特徴となっている。

（質問）　6 月の利用者数が増えているが、どう配慮しながら紹介をしたら良いか。

（返答）　本人が安全に生活できるように計画している。まずは、相談をしていただきたい。しばらくの間は毎日泊まりの希望の受け入れは難しい。
目標を定めて計画を立てることを考えている。日によって違うので相談してほしい。

（意見）　利用者さんが安全にまた、職員が疲弊しすぎないように関わっていると思う。
レスパイト的に受け入れの枠は今、大丈夫か、急な時も大丈夫かと思った。

	③　活動の様子 ・7/9～3 日間、竜王中学校 2 年生 3 名の職場体験学習の受け入れを行った。 介護の現場を知りたいと、当事業所を選んでくれた。 ・3 人共とても積極的に色々なことに興味を持って取り組んでくれており、利用者様とも話が弾み、孫やひ孫のように接して可愛がり、皆様とても良い表情をされていた。 ・7/10 は事業所で食事の契約をしているナリコマ様の指導を受けて、おやつの時間に「飴フラワー」を作成しイチゴゼリーにバラの花を飾りつけた。実際に作ることに苦戦したが、要領をつかみ上手に出来上がった。 ・7/11 にほうとう作りを行った。利用者様から、「ほうとうが食べたい」という声がきっかけとなり、具材は何にするか、手順など利用者さんと一緒に考えた。 ・男性陣は麺打ちをした。とても歯ごたえのある麺が完成した。 ・普段は押し車で歩行されている方が、しっかりと立って麺の延ばし方を見せてくれた。「こうするときれいにできるよ」と解説つきだった。 ・最年長 99 歳の包丁さばきはみごとだった。中学生と協力して具材を刻んだ。 ・初めての試みだったが、色々な世代間交流の場となった。改めて、利用者様の持っている「生き抜く力や生活力」を発見できた貴重な時間となった。 （家族より）普段は家で決まった生活になるが、中学生の職場体験、ほうとう作り等良い刺激になると思う。こうやって皆様と一緒に出来て嬉しいと思う。 （感想）　隣に住んでいて、楽しそうにしている声が聞こえて、楽しそうなのが分かる。 2.)その他 ・事業所より、9 月で開所一年になる。自己評価を 8 月末までに作成し皆様に提出したいと思う。 ・10 月 19 日に地域の子供から大人まで、楽しめるイベントを開催する計画中。 事業所周辺の４か所の地区に声を掛ける予定である。
決議事項	
課題事項	
備　考	次回会議：R7 年 9 月 30 日(火)17:30～ 場所：しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所 ※あさがお定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所との合同会議となる。